

- A) 挨拶 : Hello, everyone.
- B) 導入 :
I'm a member of baseball club.
This is my glove. I love it very much.
- C) 展開 (展示等) :
Because this is a present from my father.
He gave it to me when I was in the 7th grade.
He is good at playing baseball.
He belonged to a baseball club when he was in his junior and senior high school days.
I play catch with him every Sunday.
He teaches me fielding or batting a ball.
He is very kind. I love him very much.
- D) 結論・まとめ :
I will belong to a baseball club in Seiko Gakuen Senior High School.
I want to be a baseball player like my father and I want to play baseball at Koshien Stadium.
- E) 挨拶 : Thank you.

【図4 スピーチの構成例】

Show and Tellの構成

年 組 番 氏名

伝えたい内容を筋道を立てて箇条書きにしよう。

テーマ: 竹刀	
話 論	序 小こで始めた剣道。きっかけは親 最初は嫌だった。
	本 なぜここまで続けてこいたのが。 剣道の魅力 勝ち負けのこと、つらい練習のこと、試合で勝ったこと 中一からカーボン素材 中二で筋力アップして、力強い面が打てるようになった。 昇段試験にうかった。
展 示 論	結 いままで続けてよかった。 たくさんのお話を学んだから、 これからも続けていきたい。
	開 論
提示 方法	実物を見せる。

【図5 「発表の構想」のためのワークシート】

(2) 提示の方法

発表において、自分が「紹介するもの」を効果的に提示する方法もあわせて考えました。

<実際に生徒が考えた提示の方法>

- 実物を見せる。 ○ 絵に書いて紹介する。 ○ 写真で提示する。
○ 紹介する音楽をCDを流して紹介する。 ○ ビデオで提示する。

5 日本語で原稿を作成する。

「発表の構想」をもとに、日本語で原稿を作成させました。その際に、右のことに注意して書かせました。

<日本語原稿作成の注意点>

- 「発表の構想」を生かして、話の展開を考えて書く。
○ 1文1メッセージを基本に、できるだけ短い文にする。
○ 主語と述語を明確にする。

6 英語で原稿を作成する。

下書き(図6)を作成させ、それを教師が校正し、発表原稿(図7)を完成させました。

生徒は、日本語の原稿に、右の□で示したような表現や文を使用していました。それらの表現や文を英語にする時に、単語の使い方や文の作り方を誤ったり、悩んだりすることが予想されました。そこで、それらを例に、自分の思いや考えを分かりや

<英語にする時に気をつけよう！>

- 1 言いたいことに合う単語を使おう。
ドキドキして → ①緊張して: nervous
②興奮して: excited
どっちの意味で使うのかな？
使う言葉によって、全く意味が違ってきます。
- 2 日本語をうまく英文にしよう。
試合では、とてもドキドキした。
→ その試合は、私をととてもドキドキ(緊張)させた。
The game made me very nervous.
主語と述語を入れることで、言いたいことが明確になります。
- 3 短い文を多く使おう。
母が誕生日にくれたこのラケットはとてもよい。
This racket my mother gave me on my birthday is very nice.
→ 母が誕生日に私にこのラケットをくれた。
My mother gave me this racket on my birthday.
それはとてもよい。
It's very nice.
複雑な長い文より、2つの文のほうが聞きやすいですね。